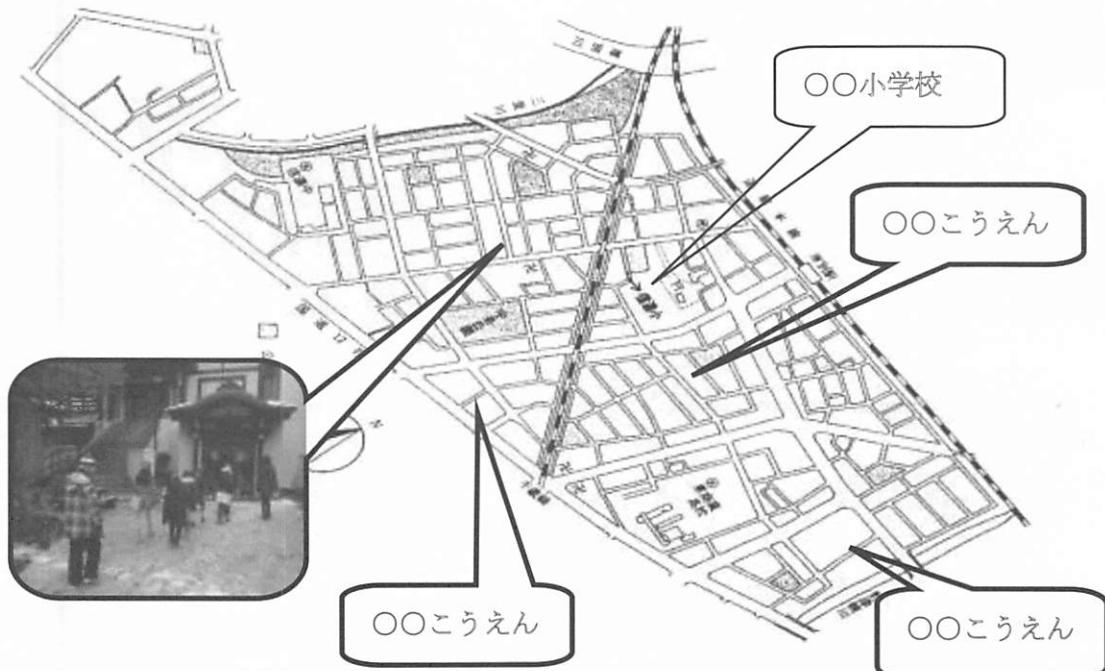


探検後の表現活動①～マップ～

ここが
ポイント

校区マップに位置付けましょう！



探検で調べてきたことは、マップに位置付けていくと、みんなで協力して作り上げるため協同意識が高まります。2年生にはまだ、地図は難しいのですが、1年生で経験している身近な「公園」を起点にして、「〇〇公園の方」と、おおよその場所をイメージできると良いでしょう。子どもたちが発見したこと、分かったことをマップに表していきます。生活科の時間だけではなく、家族との買い物や通学の時などの経験も活かします。

マップにすることで店や公共施設が集まっている地域、友達が住んでいるところが多い地域に気付くことも期待できます。取材してきた写真を貼ると、もっと楽しい活動になります。



これらは、3年生の社会科の学習にもつながる大事な気付きです。掲示板や板段ボール（屏風のように貼り合わせると自立します）に貼って、日常的に見ることができるようにすると、子どもたちの関心も高まります。

ここが
ポイント

発表する相手を考え、伝えることを決めましょう！

「気付いたこと」や「発見したこと」をまとめて発表の準備をするときに、発表する相手を考え、「誰に」発表するのかを意識することが大切なポイントです。

クラスのグループごとに互いの発表を見せ合う場合、「他のグループの人が知らない、とっておきのひみつ」を伝える、参観日で保護者に発表する場合、「おうちの人にも知らせたい頑張り」を用意する、1年生に伝える場合は、「2年生が調べてきたことを教えてあげよう」と目的をもつなど、伝える相手



に応じていろいろな投げ掛けがあります。

相手に伝わるように上手に表現するためには相手のことを考えなければなりません。子どもたちの表現の工夫が変わってきますので、相手は予め提示しておきましょう。学習の見通しをもつことができます。

あるある NG!

○「発表会」で終わってしまっては……

学び合いや感想交流もなく、次から次へと「それぞれ自分の発表をして終わり」では、せっかくの探検活動がもったいないです。

「振り返り」や「良かったこと」を発表後に交流することが大事です。学び合うためには気付きを共有し、新たな学びにつながるような価値付けを教師が率先して行いましょう。

○現在の学年から、次年度の子どもたちへ

見学をさせてくれた店や施設は学校の大切な「教育資源」です。終わっても次の年度につながるように、お礼状や子どもからの手紙を送るなどしましょう。連絡先や今年度培ったノウハウは、学校の財産として次の学年に引き継げるようにします。